



### 18 新春恒例 火渡り行事

西國寺で、元旦からの護摩の総仕上げとして「柴燈大護摩法要」が行われました。火のついたヒノキの葉の上を山伏姿の行者が渡った後、煙の立ち込める炭の上を約90人の信者などが、1年の無病息災や家内安全などを願いながら渡りました。表紙の写真もこの日の様子です。

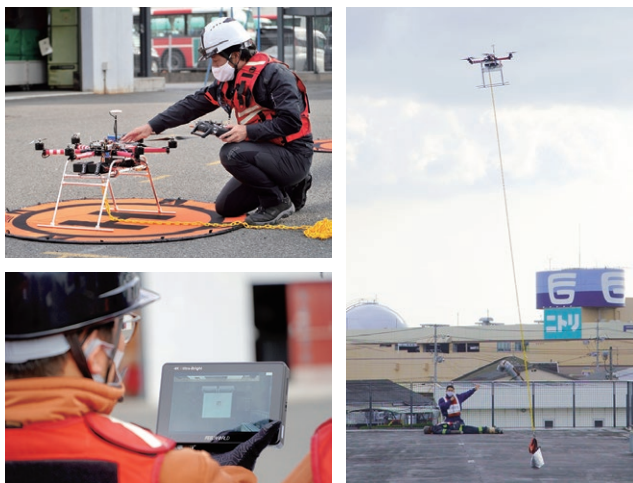
麻生副住職によると、新型コロナ退散を願う強い思いからか、今年の火はいつもより熱かったそうです。



### 寒波襲来! 千光寺公園も雪化粧

二十四節気の23番目「小寒」を迎え、尾道市内でも厳しい寒さが続きました。9日(土)には気温が-6度を下回り、凍結による水道管破裂が1,000件も発生したり、池や川に氷が張ったりしました。

また、12日(火)には市街地では珍しく雪が積もり、千光寺公園もうっすら雪化粧。春には満開の桜でピンク色に染まる公園も、冬のこの日は白色の静かな情景でした。



### 117 新技術で災害に備えます

阪神淡路大震災より26年を迎えたこの日に合わせ、市消防局では「ドローン」を使った訓練を行いました。土砂崩れにより道路が寸断され、災害現場に救助隊が侵入できない状況への対応という設定です。

まず撮影用ドローンにより現場の様子をカメラ中継し、続いて大型のドローンで要救助者に向けて連絡用のトランシーバーや飲料水などの物資を投下しました。

今後も技術の進歩により、災害への対応力が高まることが期待されます。



### 122 文化財を守る! お寺で消防訓練

多くの文化財がある尾道市。火災による焼損を防ぎ、文化財を守るため、毎年1回「文化財保護デー」に合わせて訓練が行われています。今回は、御調町の照源寺で、地震で倒れたろうそくにより本堂から出火し、延焼しているという設定で訓練が行われました。消防局、地元消防団や寺関係者が連携し、「いざ」というときに備えて、通報、避難誘導、火災防ぎよなどの動きを再確認しました。